

第49回 杉並区区民意向調査

区政に関する意識と実態

(要約版)

この小冊子は、平成29年5月に実施しました「第49回杉並区区民意向調査」の結果のあらましです。ご協力いただきました区民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

詳細につきましては、区政資料室、区立図書館、地域区民センターに備え付けの調査報告書をご覧ください。

平成29年10月

杉並区 総務部 区政相談課

【調査のあらまし】

- ・調査対象 満18歳以上の区民
- ・対象者 1,400人
- ・調査方法 郵送留置・訪問回収法
- ・回収数(回収率) 1,070人 (76.4%)
- ・調査時期 平成29年5月

【小冊子の見方】

- ・nはその設問の回答者数を表しています。
- ・回答結果は件数を基数とした百分率で算出し、小数第2位を四捨五入してあります。このため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合は合計が100%を超える場合があります。

【調査項目】

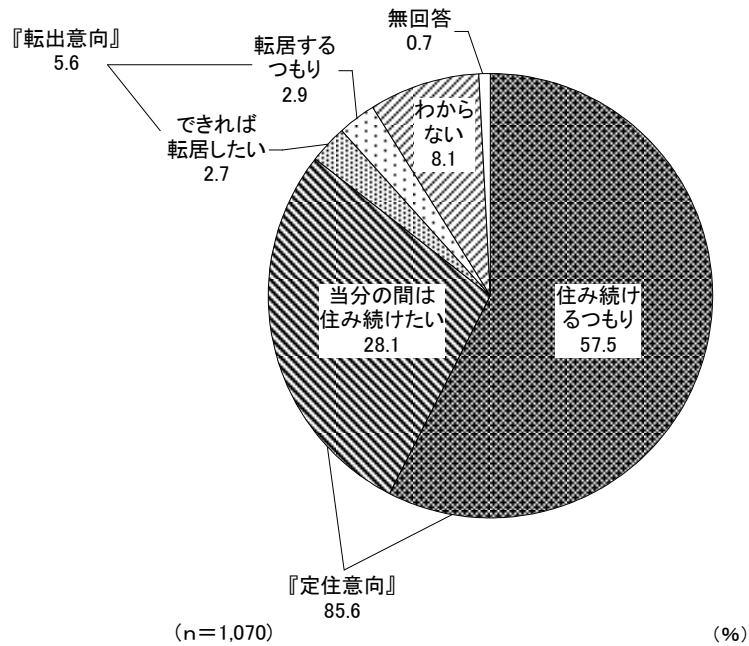
1. 定住性と生活環境について
2. 健康と医療、社会参加活動状況について
3. 地域防災について
4. 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について
5. 区の情報について
6. 子育て支援に関する意向について
7. 商店街について
8. 高齢者在宅支援について
9. 環境に配慮した行動について
10. 運動・スポーツについて
11. 狭あい道路拡幅整備について
12. 科学教育の推進について
13. 道路整備と自転車の安全対策について
14. 緑化について
15. その他の区政について

1. 定住性と生活環境について

定住意向

『定住意向』が8割半ば

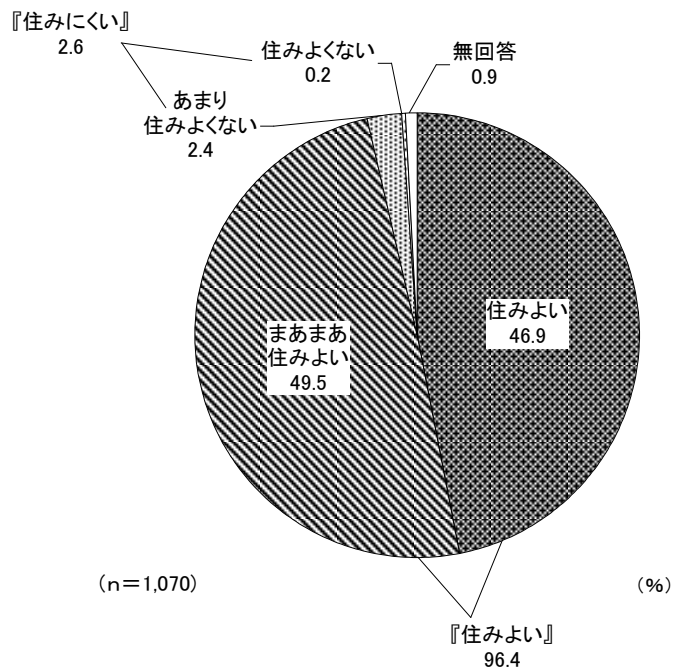
- ◆ 定住意向を聞いたところ、「住み続けるつもり」(57.5%)が6割近くと最も高く、これに「当分の間は住み続けたい」(28.1%)を合わせた『定住意向』(85.6%)は8割半ばとなっています。一方、「できれば転居したい」(2.7%)と「転居するつもり」(2.9%)を合わせた『転出意向』(5.6%)は1割未満となっています。



住みやすさ

『住みよい』が9割半ば

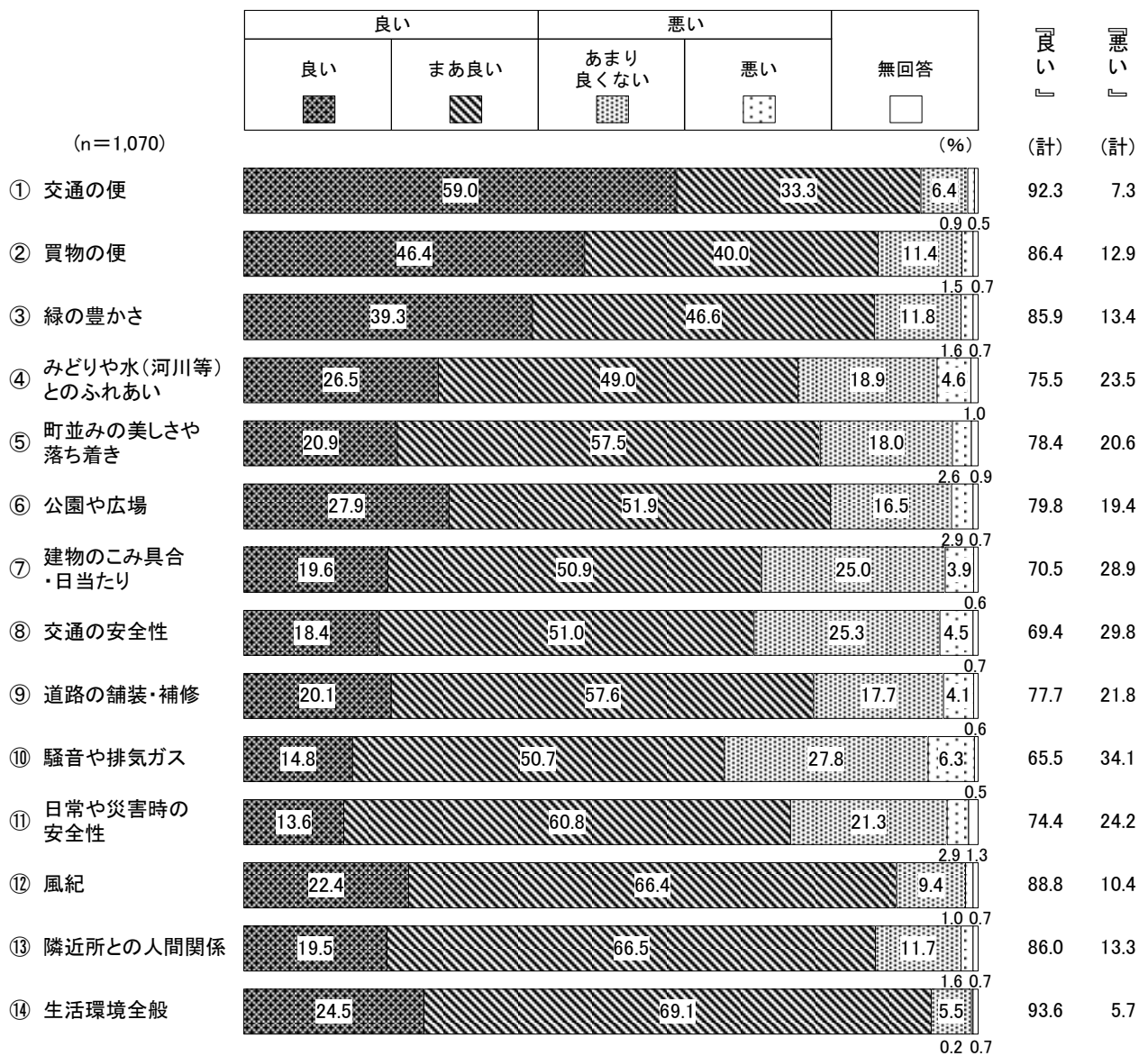
- ◆ 現在の杉並区は「住みよいまち」だと思うか聞いたところ、「住みよい」(46.9%)と「まあまあ住みよい」(49.5%)を合わせた『住みよい』(96.4%)は9割半ばとなっています。一方、「あまり住みよくない」(2.4%)と「住みよくない」(0.2%)を合わせた『住みにくい』(2.6%)はわずかとなっています。



生活環境の評価

<生活環境全般>の『良い』が9割を超えて高評価

- ◆ 自宅周辺の生活環境について聞いたところ、「良い」と「まあ良い」を合わせた『良い』は【生活環境全般】(93.6%)が9割を超えて最も高く、次いで【交通の便】(92.3%)、【風紀】(88.8%)、【買物の便】(86.4%)、【隣近所との人間関係】(86.0%)などの順になっています。一方、「あまり良くない」と「悪い」を合わせた『悪い』は【騒音や排気ガス】(34.1%)が3割半ばと最も高く、次いで【交通の安全性】(29.8%)、【建物のこみ具合・日当たり】(28.9%)、【日常や災害時の安全性】(24.2%)、【みどりや水(河川等)とのふれあい】(23.5%)などの順になっています。

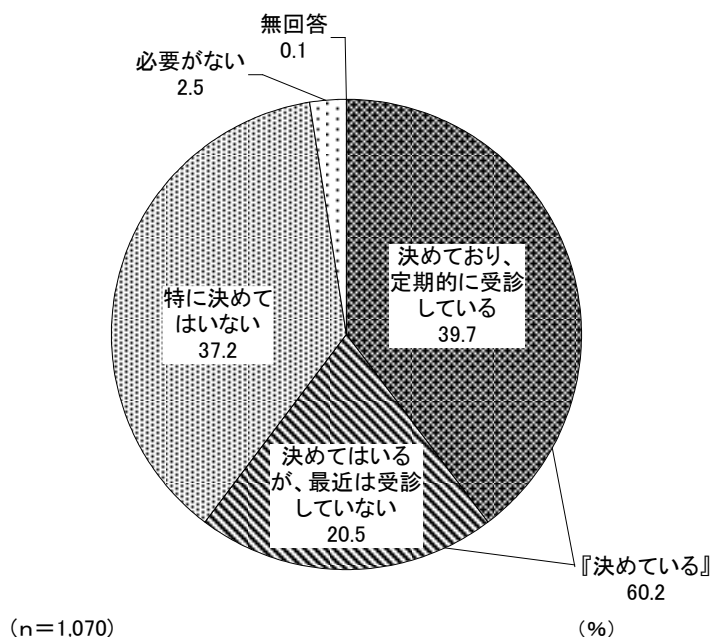


2. 健康と医療、社会参加活動状況について

かかりつけ医の有無

かかりつけの医者『決めている』人が6割

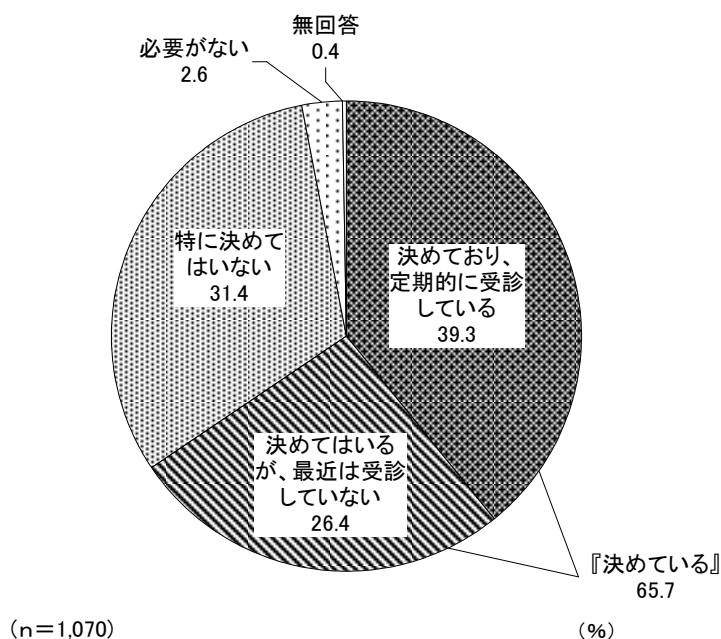
- ◆ かかりつけの医者を決めているか聞いたところ、「決めており、定期的に受診している」(39.7%)が4割で、これに「決めてはいるが、最近を受診していない」(20.5%)を合わせた『決めている』(60.2%)は6割となっています。一方、「特に決めてはいない」(37.2%)は4割近く、「必要がない」(2.5%)はわずかとなっています。



かかりつけ歯科医の有無

かかりつけの歯科医『決めている』人が6割半ば

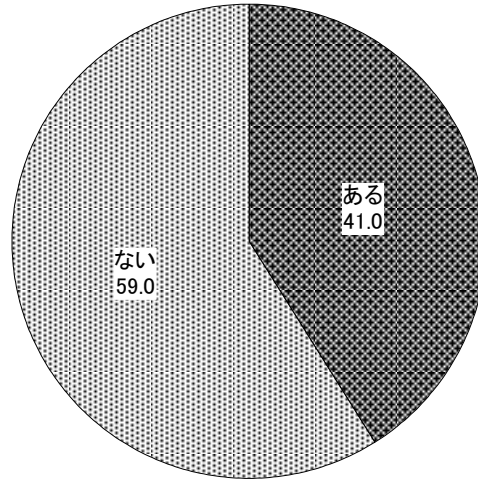
- ◆ かかりつけの歯科医を決めているか聞いたところ、「決めており、定期的に受診している」(39.3%)がほぼ4割と最も高く、これに「決めてはいるが、最近を受診していない」(26.4%)を合わせた『決めている』(65.7%)は6割半ばとなっています。一方、「特に決めてはいない」(31.4%)は3割を超え、「必要がない」(2.6%)はわずかとなっています。



かかりつけ薬局の有無

かかりつけの薬局が「ある」人が4割を超える

- ◆ かかりつけの薬局を決めているか聞いたところ、かかりつけが「ある」(41.0%)は4割を超えています。一方、かかりつけが「ない」(59.0%)がほぼ6割となっています。



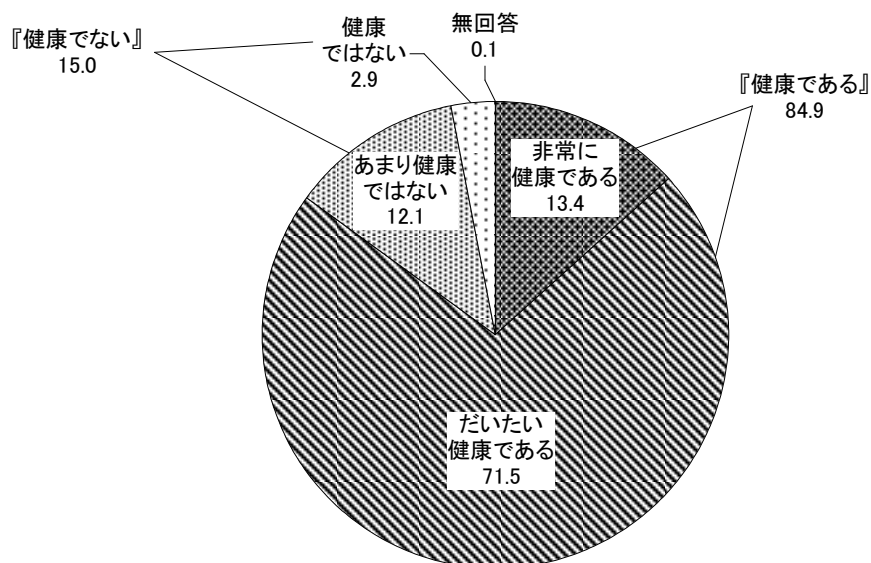
(n=1,070)

(%)

健康状態

『健康である』が8割半ば

- ◆ 健康状態について聞いたところ、「だいたい健康である」(71.5%)が7割を超え、これに「非常に健康である」(13.4%)を合わせた『健康である』(84.9%)は8割半ばとなっています。一方、「あまり健康ではない」(12.1%)と「健康ではない」(2.9%)を合わせた『健康でない』(15.0%)は1割半ばとなっています。



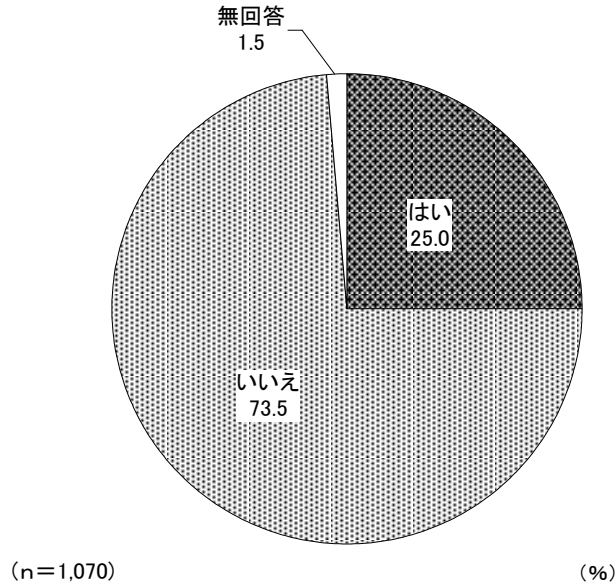
(n=1,070)

(%)

救急医療体制への不安感

「はい」(不安を感じる)が2割半ば

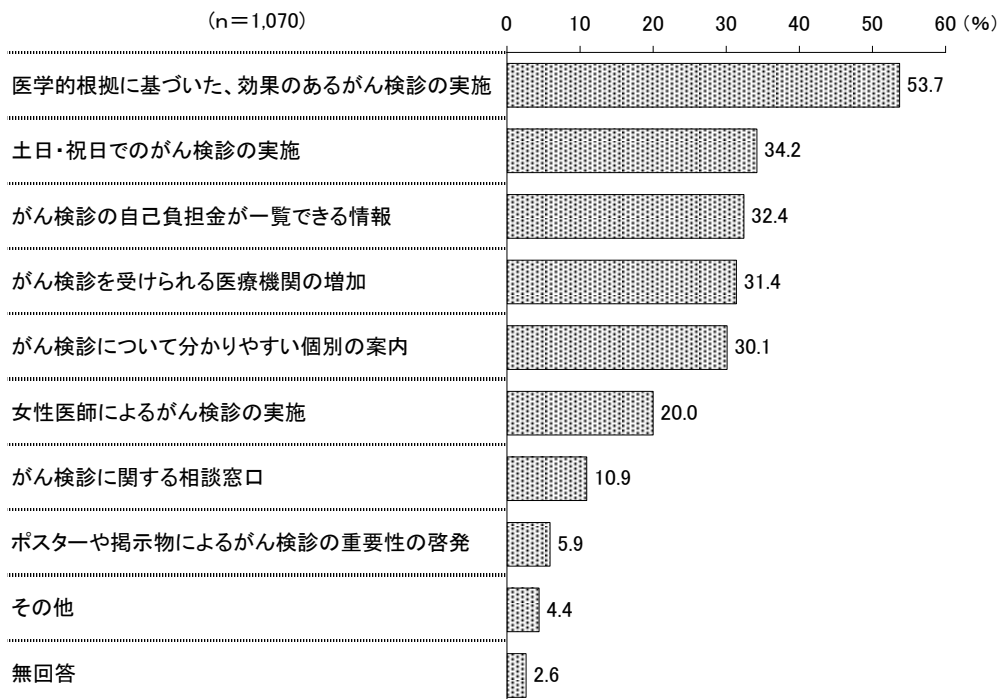
- ◆ 杉並区の休日・夜間の医療体制(救急医療体制)に不安を感じるか聞いたところ、「はい」(25.0%)は2割半ば、「いいえ」(73.5%)が7割を超えています。



がん検診事業に求めること

「医学的根拠に基づいた、効果のあるがん検診の実施」が5割を超える

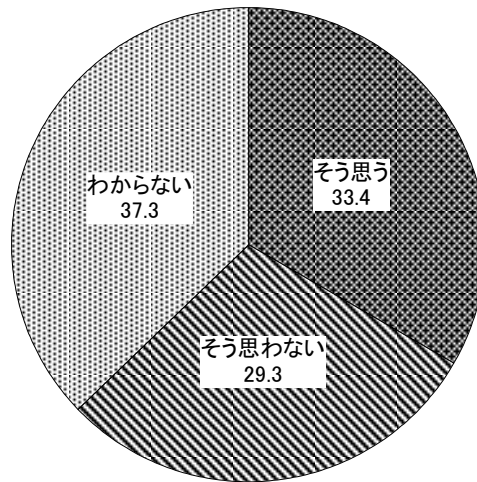
- ◆ 区のがん検診事業に求めることを聞いたところ、「医学的根拠に基づいた、効果のあるがん検診の実施」(53.7%)が5割を超えて最も高く、次いで「土日・祝日でのがん検診の実施」(34.2%)、「がん検診の自己負担金が一覧できる情報」(32.4%)、「がん検診を受けられる医療機関の増加」(31.4%)、「がん検診について分かりやすい個別の案内」(30.1%)などの順になっています。



長期療養が必要となった場合の自宅療養意向

「そう思う」が3割を超える

- ◆ 長期療養が必要となった場合の自宅療養意向を聞いたところ、「そう思う」(33.4%)が3割を超え、「そう思わない」(29.3%)はほぼ3割となっています。



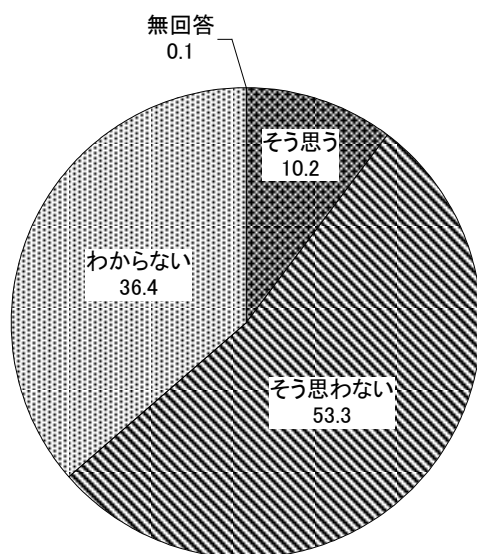
(n=1,070)

(%)

自宅療養の実現可否

「そう思わない」が5割を超える

- ◆ 自宅での療養は実現可能だと思うか聞いたところ、「そう思う」(10.2%)は1割、「そう思わない」(53.3%)が5割を超えています。



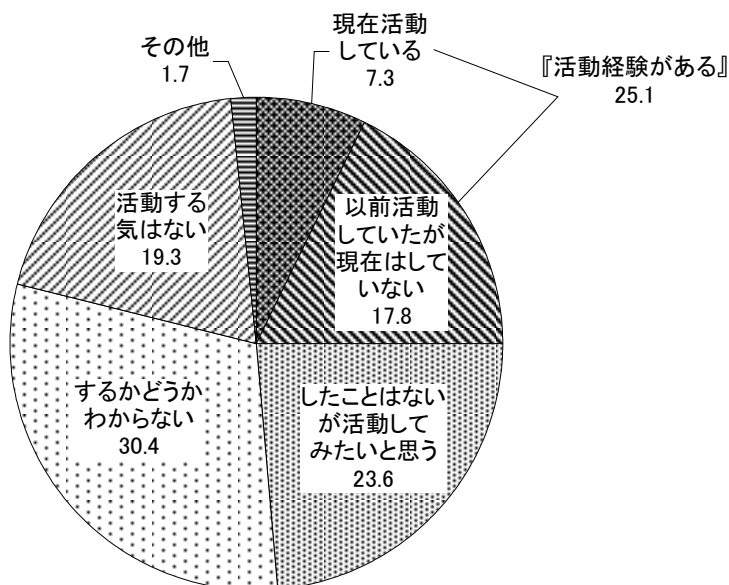
(n=1,070)

(%)

ボランティア活動経験

『活動経験がある』が2割半ば

- ◆ ボランティア活動をした経験があるか聞いたところ、「現在活動している」(7.3%)と「以前活動していたが現在はしていない」(17.8%)を合わせた『活動経験がある』(25.1%)は2割半ばとなっています。「したことはないが活動してみたいと思う」(23.6%)は2割を超え、「するかどうかわからない」(30.4%)は3割、「活動する気はない」(19.3%)はほぼ2割となっています。



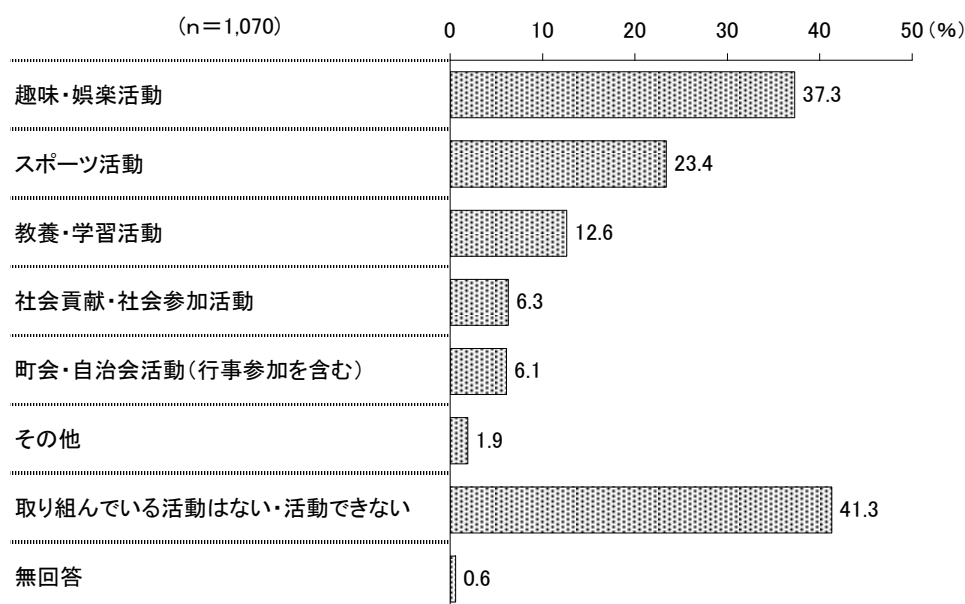
(n=1,070)

(%)

社会参加活動状況

「趣味・娯楽活動」が4割近く

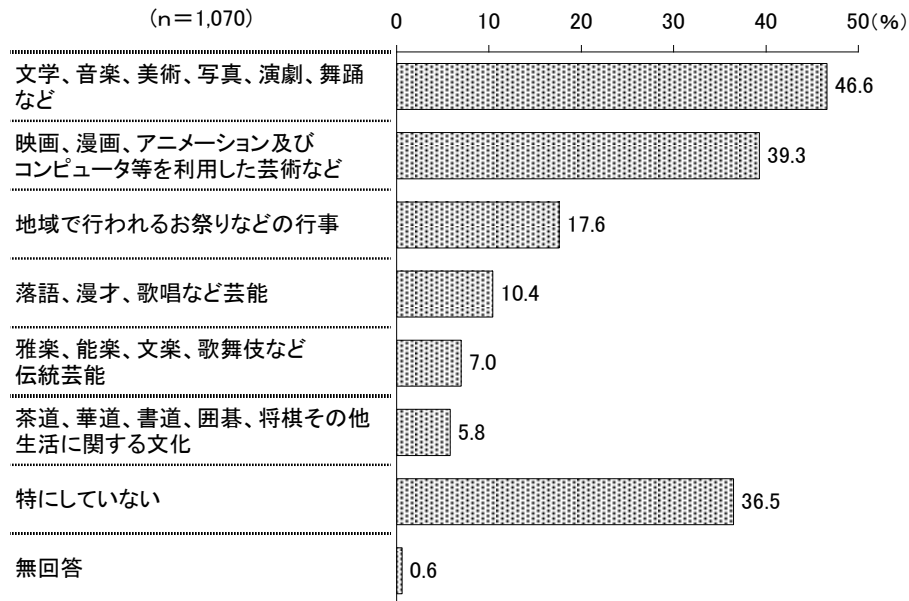
- ◆ 取り組んでいる趣味や習いごと、社会活動について聞いたところ、「趣味・娯楽活動」(37.3%)が4割近くと最も高く、次いで「スポーツ活動」(23.4%)、「教養・学習活動」(12.6%)、「社会貢献・社会参加活動」(6.3%)、「町会・自治会活動(行事参加を含む)」(6.1%)の順になっています。一方、「取り組んでいる活動はない・活動できない」(41.3%)は4割を超えています。



文化・芸術活動の有無

「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」が5割近く

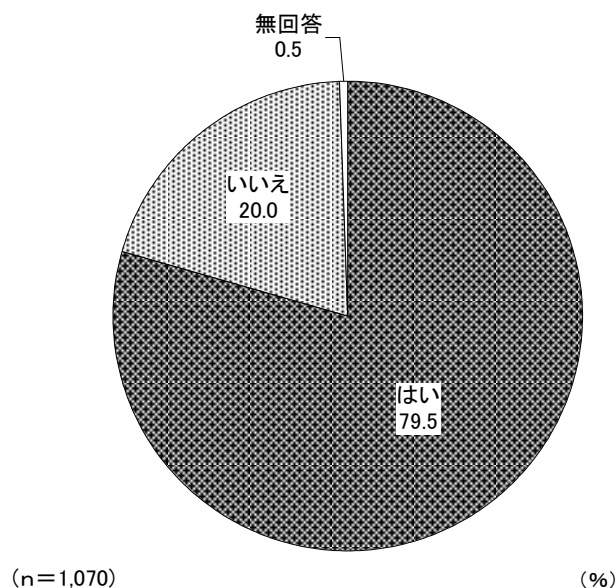
- ◆ 文化・芸術活動の有無について聞いたところ、「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」(46.6%)が5割近くと最も高く、次いで「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」(39.3%)、「地域で行われるお祭りなどの行事」(17.6%)、「落語、漫才、歌唱など芸能」(10.4%)などの順になっています。一方、「特にしていない」(36.5%)は4割近くとなっています。



生きがいの有無

「はい」(感じている)が8割

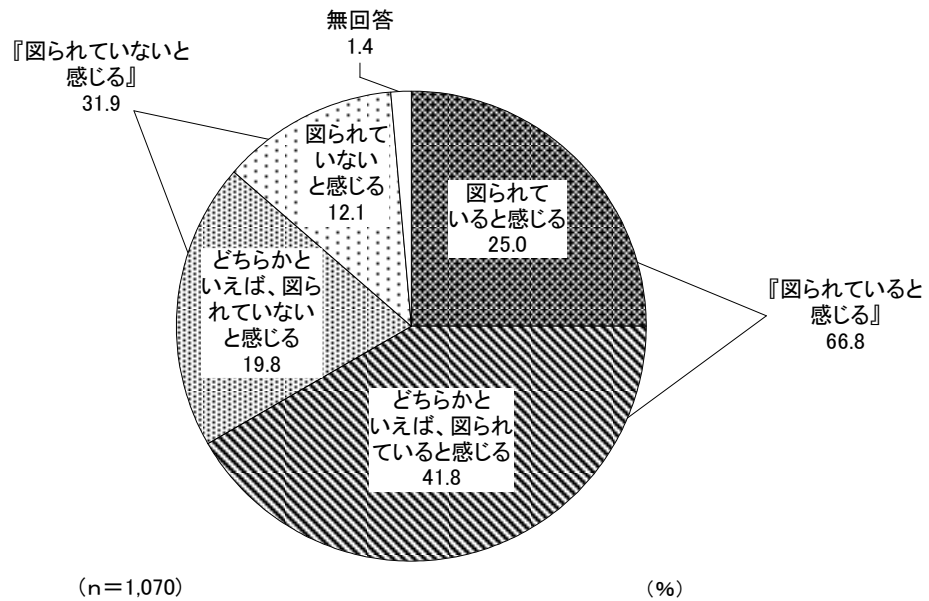
- ◆ 生きがいを感じているか聞いたところ、「はい」(79.5%)が8割、「いいえ」(20.0%)は2割となっています。



仕事と生活の調和に対する意識

調和が『図られていると感じる』が7割近く

- ◆ 仕事と生活の調和が図られていると感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、図られていると感じる」(41.8%)が4割を超え、これに「図られていると感じる」(25.0%)を合わせた『図られていると感じる』(66.8%)は7割近くとなっています。一方、「どちらかといえば、図られていないと感じる」(19.8%)と「図られていないと感じる」(12.1%)を合わせた『図られていないと感じる』(31.9%)は3割を超えています。

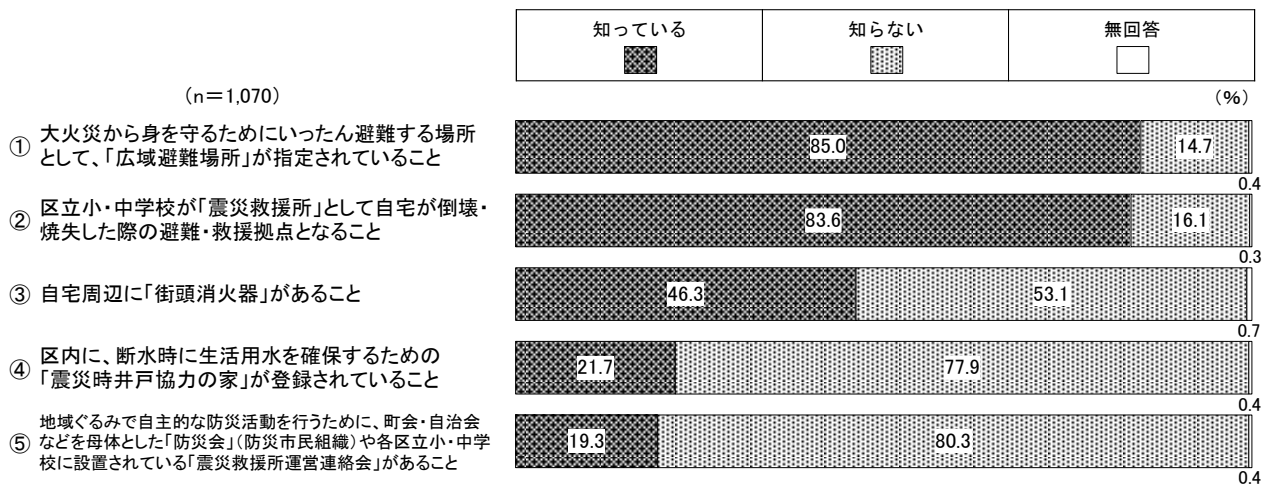


3. 地域防災について

震災対策に関する周知度

【広域避難場所】と【震災救援所】を「知っている」人が8割台

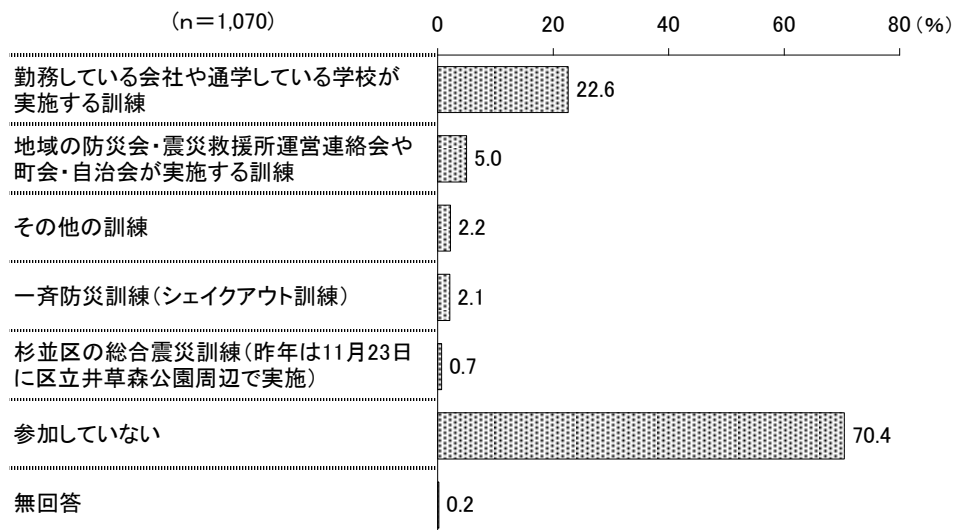
- ◆ 震災対策に関して知っている内容を聞いたところ、「知っている」は【広域避難場所】(85.0%)と【震災救援所】(83.6%)で8割台と高い割合を占めていますが、【街頭消火器】(46.3%)は4割半ば、【震災時井戸協力の家】(21.7%)と【防災会(防災市民組織)・震災救援所運営連絡会】(19.3%)は2割前後であり、3項目で過半数を下回っています。



防災訓練の参加状況

「勤務している会社や通学している学校が実施する訓練」が2割を超える

- ◆ この1年の間に参加した防災訓練は何か聞いたところ、「勤務している会社や通学している学校が実施する訓練」(22.6%)が2割を超えて最も高く、次いで「地域の防災会・震災救援所運営連絡会や町会・自治会が実施する訓練」(5.0%)などの順になっています。一方、「参加していない」(70.4%)は7割となっており、何らかの訓練に参加した人は約3人に1人となっています。

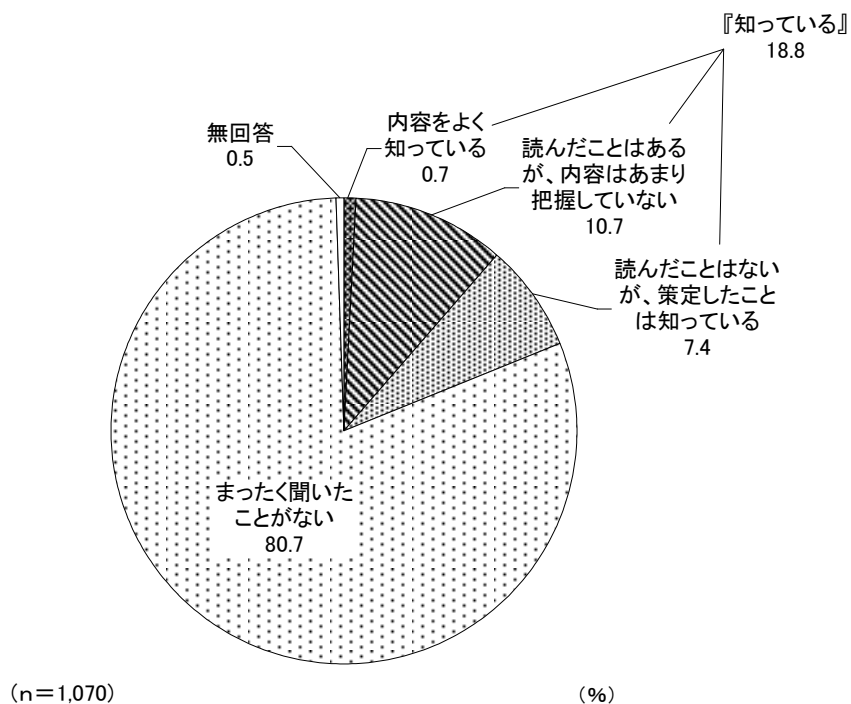


4. 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について

「杉並区基本構想（10年ビジョン）」の認知度

『知っている』人が2割近く

- ◆ 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について知っているか聞いたところ、「まったく聞いたことがない」（80.7%）がほぼ8割となっています。「内容をよく知っている」（0.7%）、「読んだことはあるが、内容はあまり把握していない」（10.7%）、「読んだことはないが、策定したことは知っている」（7.4%）を合わせた『知っている』（18.8%）は2割近くとなっています。

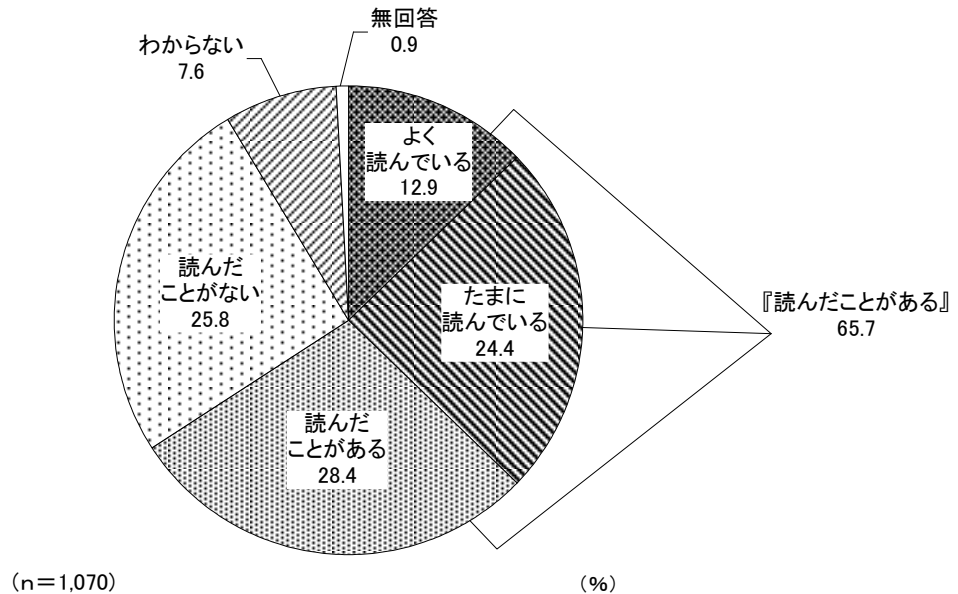


5. 区の情報について

広報紙の閲読状況

『読んだことがある』人が6割半ば

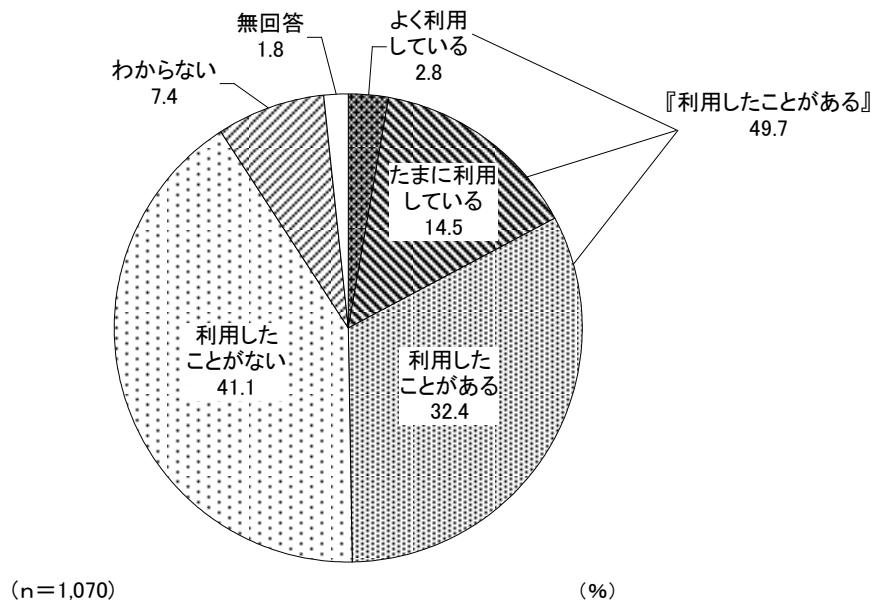
- ◆ 広報紙を読んだことがあるか聞いたところ、「読んだことがある」(28.4%)が3割近くと最も高く、これに「よく読んでいる」(12.9%)、「たまに読んでいる」(24.4%)を合わせた『読んだことがある』(65.7%)は6割半ばとなっています。一方、「読んだことがない」(25.8%)は2割半ばとなっています。



区公式ホームページの利用状況

『利用したことがある』人が5割

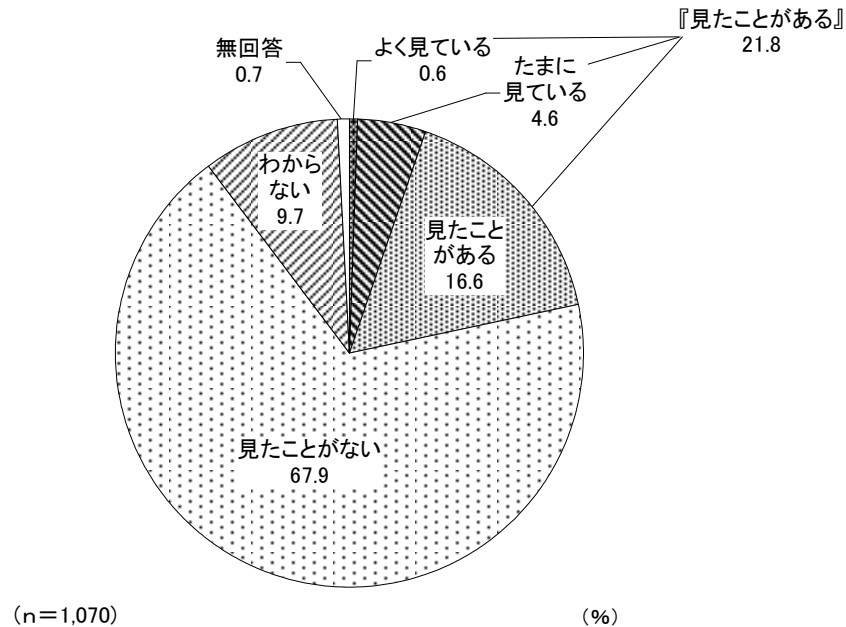
- ◆ 区公式ホームページを利用したことがあるか聞いたところ、「よく利用している」(2.8%)、「たまに利用している」(14.5%)、「利用したことがある」(32.4%)を合わせた『利用したことがある』(49.7%)は5割となっています。一方、「利用したことがない」(41.1%)は4割を超えています。



区の広報番組の視聴状況

『見たことがある』人が2割を超える

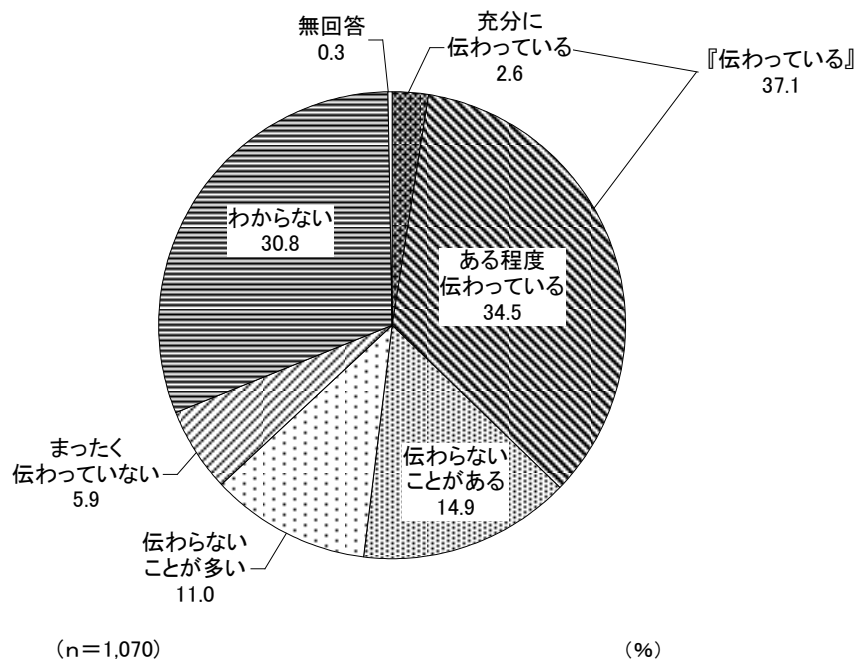
- ◆ 「すぎなみニュース」と「すぎなみニュースまちかどNOW」という広報番組を見たことがあるか聞いたところ、「よく見ている」(0.6%)、「たまに見ている」(4.6%)、「見たことがある」(16.6%)を合わせた『見たことがある』(21.8%)は2割を超えています。一方、「見たことがない」(67.9%)は7割近くとなっています。



区の情報の伝達度

『伝わっている』が4割近く

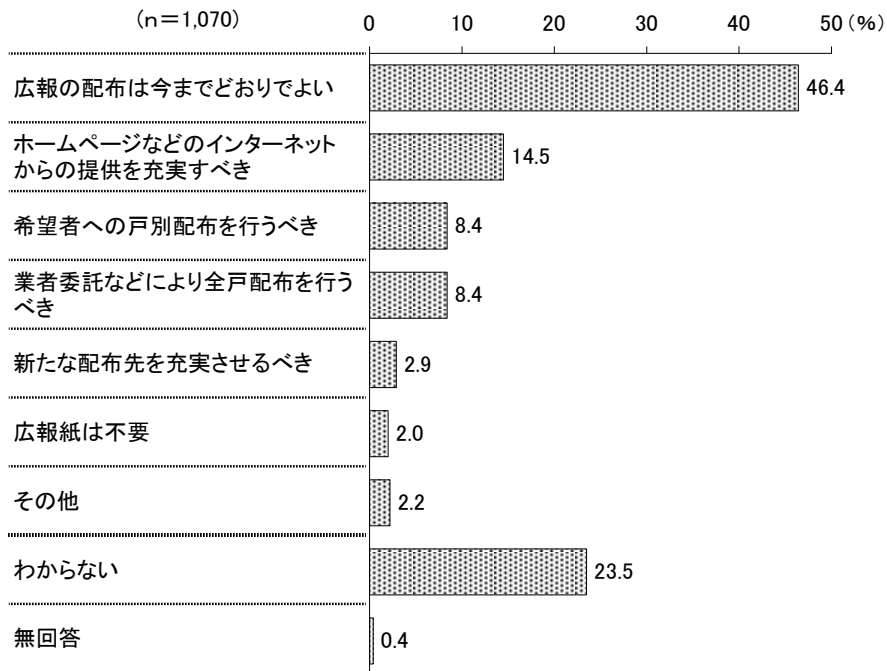
- ◆ 必要とする区の情報が伝わっているか聞いたところ、「ある程度伝わっている」(34.5%)が3割半ばで、これに「十分に伝わっている」(2.6%)を合わせた『伝わっている』(37.1%)は4割近くとなっています。一方、「伝わらないことがある」(14.9%)が1割半ば、「伝わらないことが多い」(11.0%)が1割を超え、「まったく伝わっていない」(5.9%)は1割未満となっています。



「広報すぎなみ」の配布方法

「広報の配布は今までどおりでよい」が4割半ば

- ◆ 「広報すぎなみ」の配布方法について聞いたところ、「広報の配布は今までどおりでよい」(46.4%)が4割半ばと突出しています。次いで「ホームページなどのインターネットからの提供を充実すべき」(14.5%)、「希望者への戸別配布を行うべき」と「業者委託などにより全戸配布を行うべき」(ともに8.4%)、「新たな配布先を充実させるべき」(2.9%)などの順になっています。

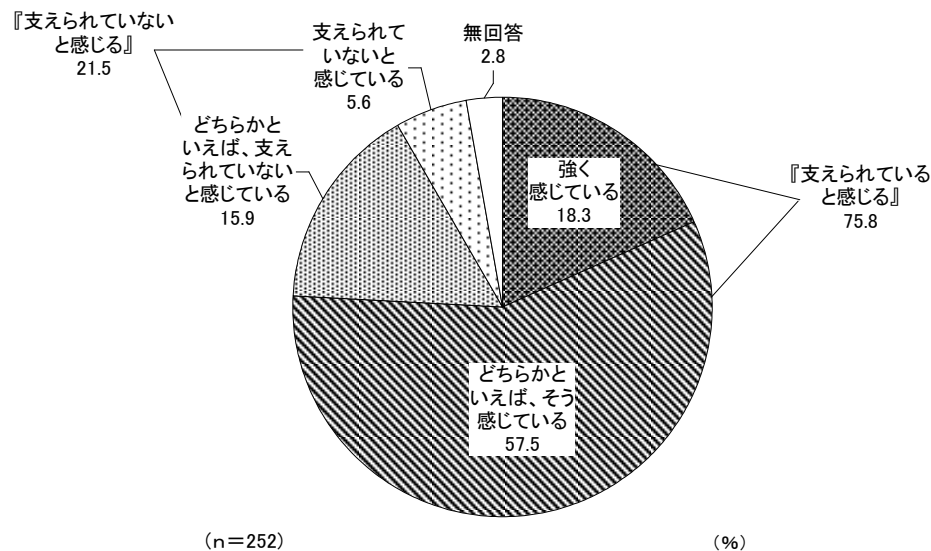


6. 子育て支援に関する意向について

地域の子育て支援についての意識

地域や社会に『支えられていると感じる』が7割半ば

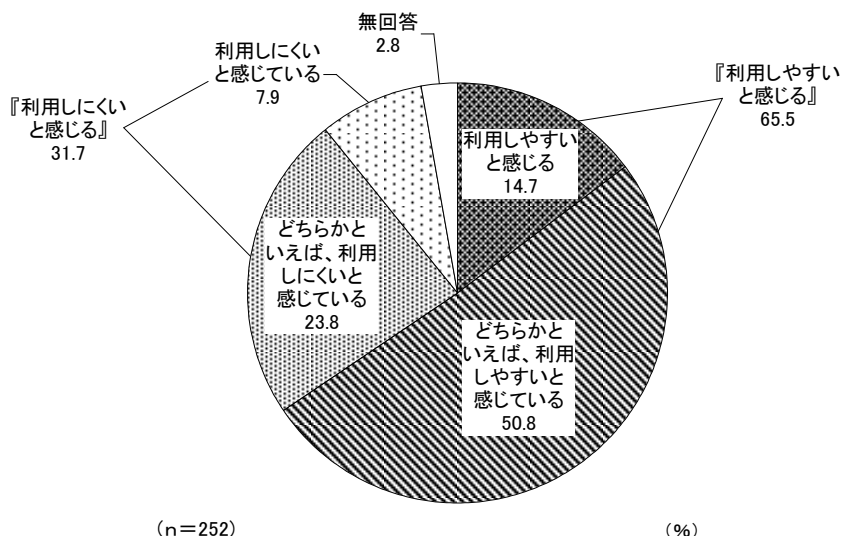
- ◆ 18歳未満の子どもがいる人（252人）に、子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、そう感じている」（57.5%）が6割近くで、これに「強く感じている」（18.3%）を合わせた『支えられていると感じる』（75.8%）は7割半ばとなっています。一方、「どちらかといえば、支えられていないと感じている」（15.9%）と「支えられていないと感じている」（5.6%）を合わせた『支えられていないと感じる』（21.5%）は2割を超えています。



地域の子育て支援サービス等の利用しやすさ

『利用しやすいと感じる』が6割半ば

- ◆ 18歳未満の子どもがいる人（252人）に、地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、利用しやすいと感じている」（50.8%）がほぼ5割で、これに「利用しやすいと感じる」（14.7%）を合わせた『利用しやすいと感じる』（65.5%）は6割半ばとなっています。一方、「どちらかといえば、利用しにくいと感じている」（23.8%）と「利用しにくいと感じている」（7.9%）を合わせた『利用しにくいと感じる』（31.7%）は3割を超えています。

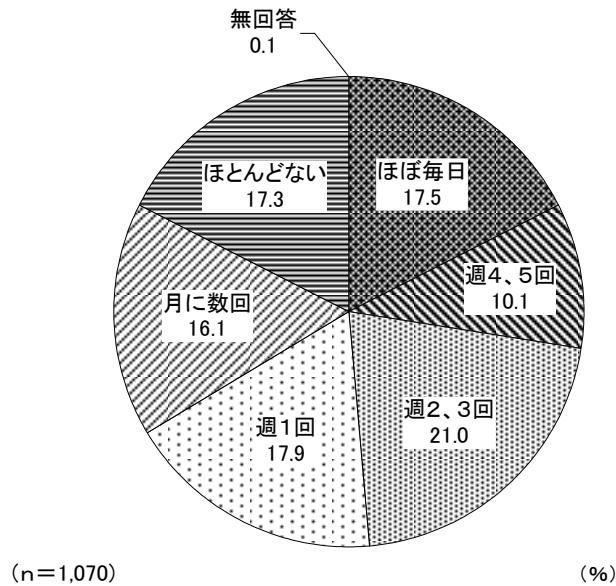


7. 商店街について

商店街の利用頻度

「週2、3回」が2割を超える

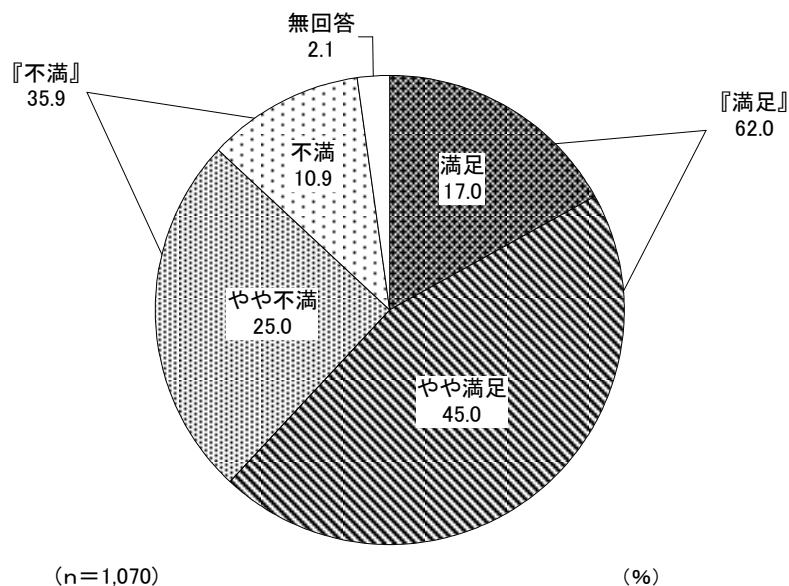
- ◆ 商店街の利用頻度について聞いたところ、「週2、3回」(21.0%)が2割を超えて最も高く、次いで「週1回」(17.9%)、「ほぼ毎日」(17.5%)、「月に数回」(16.1%)、「週4、5回」(10.1%)の順になっています。また、「ほとんどない」(17.3%)は2割近くとなっています。



商店街の満足度

『満足』が6割を超える

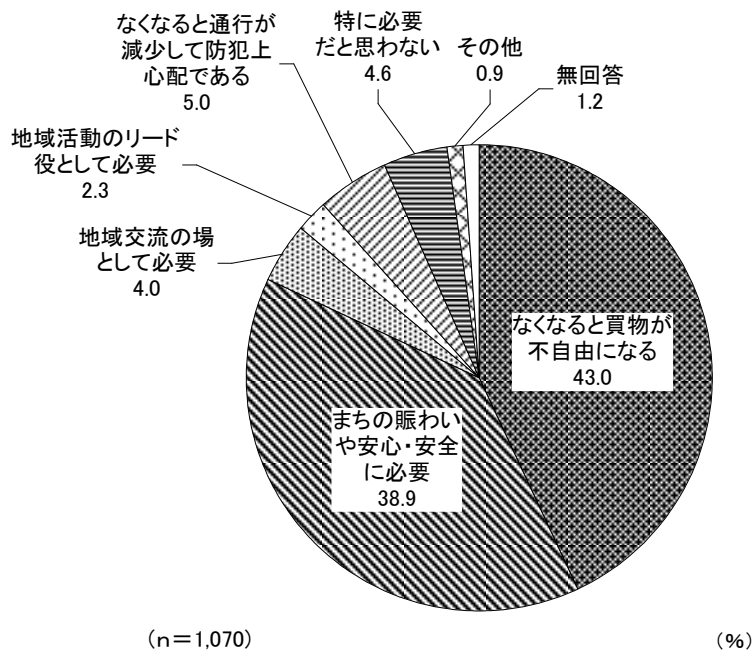
- ◆ 商店街の満足度について聞いたところ、「やや満足」(45.0%)が4割半ばで、これに「満足」(17.0%)を合わせた『満足』(62.0%)は6割を超えています。一方、「やや不満」(25.0%)と「不満」(10.9%)を合わせた『不満』(35.9%)は3割半ばとなっています。



商店街が必要な理由

「なくなると買物が不自由になる」が4割を超える

- ◆ 商店街が必要な理由を聞いたところ、「なくなると買物が不自由になる」(43.0%)が4割を超え、「まちの賑わいや安心・安全に必要」(38.9%)が4割近くと、この2項目が特に高くなっています。次いで「なくなると通行が減少して防犯上心配である」(5.0%)、「地域交流の場として必要」(4.0%)、「地域活動のリード役として必要」(2.3%)の順になっています。一方、「特に必要だと思わない」(4.6%)、「特に必要だと思わない」(4.6%)はわずかとなっています。

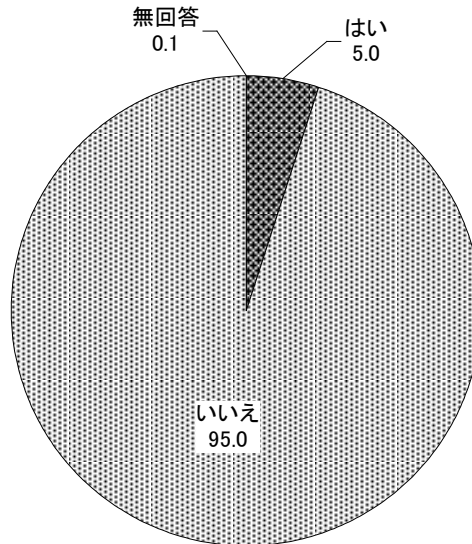


8. 高齢者在宅支援について

現在の介護状況

「いいえ」(介護をしていない)が9割半ば

- ◆ 現在、介護をしているか聞いたところ、「いいえ」(95.0%)が9割半ば、「はい」(5.0%)は1割未満となっています。



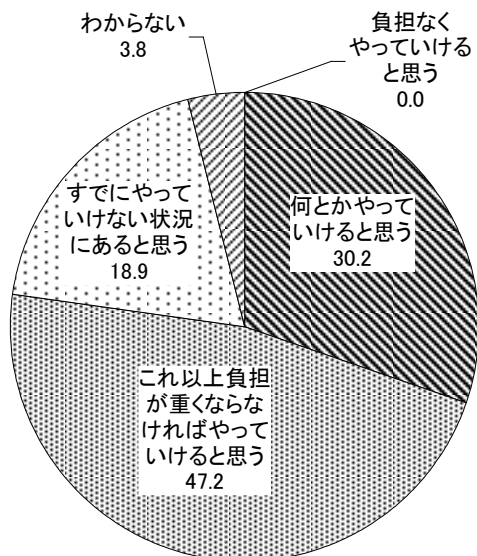
(n=1,070)

(%)

今後の在宅介護の見通し

「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」が5割近く

- ◆ 現在の介護状況で「介護をしている」と答えた人(53人)に、今後の在宅介護の見通しを聞いたところ、「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」(47.2%)が5割近くと最も高く、次いで「何とかやっていけると思う」(30.2%)、「すでにやっていけない状況にあると思う」(18.9%)などの順になっています。



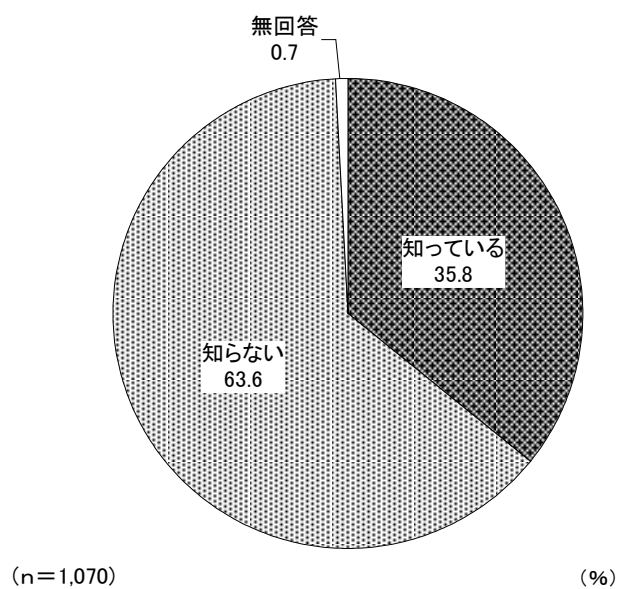
(n=53)

(%)

地域包括支援センター（ケア24）の認知度

「知っている」人が3割半ば

- ◆ 地域包括支援センター（ケア24）を知っているか聞いたところ、「知っている」（35.8%）は3割半ば、「知らない」（63.6%）が6割を超えています。

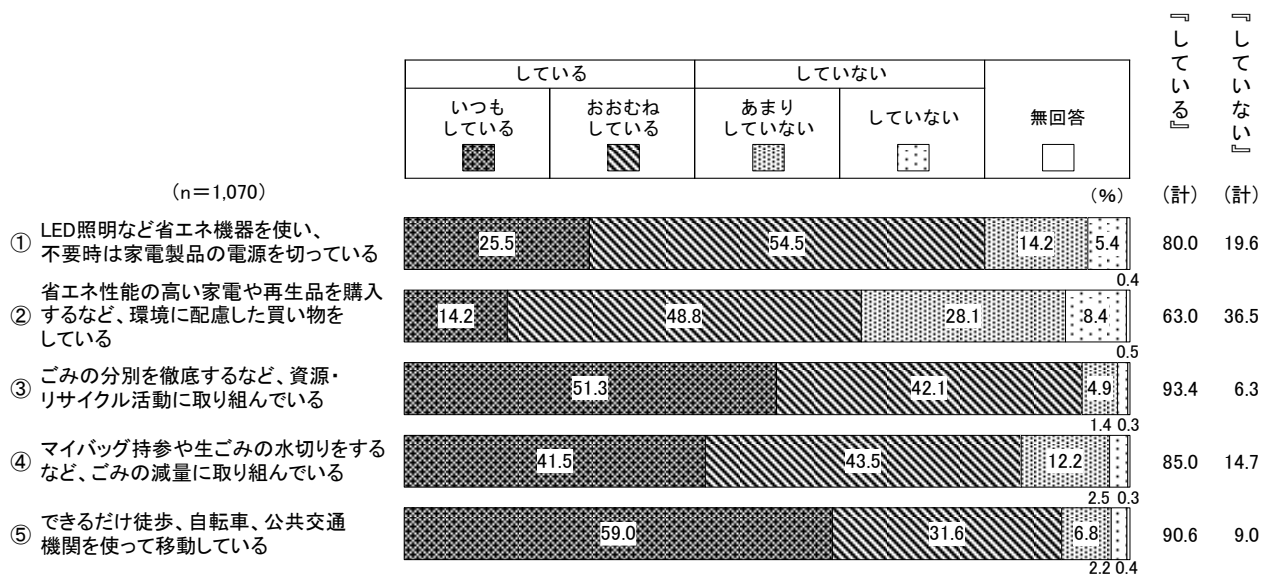


9. 環境に配慮した行動について

環境に配慮した行動への取り組み

【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】と【できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している】を『している』人が9割台

- ◆ 環境に配慮した行動への取り組みについて聞いたところ、「いつもしている」と「おおむねしている」を合わせた『している』と答えた人は、【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】(93.4%)と【できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している】(90.6%)で9割台、【マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる】(85.0%)で8割半ばとなっています。一方、「あまりしていない」と「していない」を合わせた『していない』と答えた人は、【省エネ性能の高い家電や再生品を購入するなど、環境に配慮した買い物をしている】(36.5%)で4割近く、【LED照明など省エネ機器を使い、不要時は家電製品の電源を切っている】(19.6%)で2割となっています。

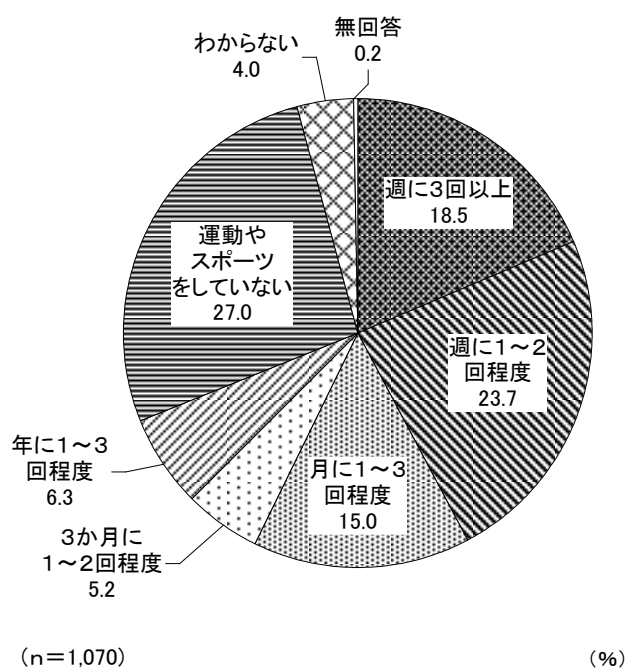


10. 運動・スポーツについて

この1年間の運動やスポーツの実施状況

「週に1～2回程度」が2割を超える

- ◆ この1年間の運動やスポーツの実施状況について聞いたところ、「週に1～2回程度」(23.7%)が2割を超えて最も高く、次いで「週に3回以上」(18.5%)、「月に1～3回程度」(15.0%)、「年に1～3回程度」(6.3%)、「3か月に1～2回程度」(5.2%)の順になっています。一方、「運動やスポーツをしていない」(27.0%)は3割近くとなっています。

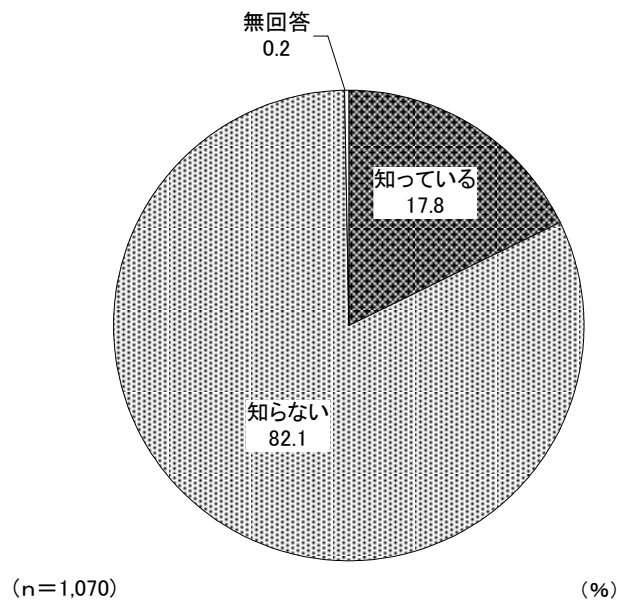


11. 狭あい道路拡幅整備について

「狭あい道路拡幅整備事業」の認知度

「知っている」人が2割近く

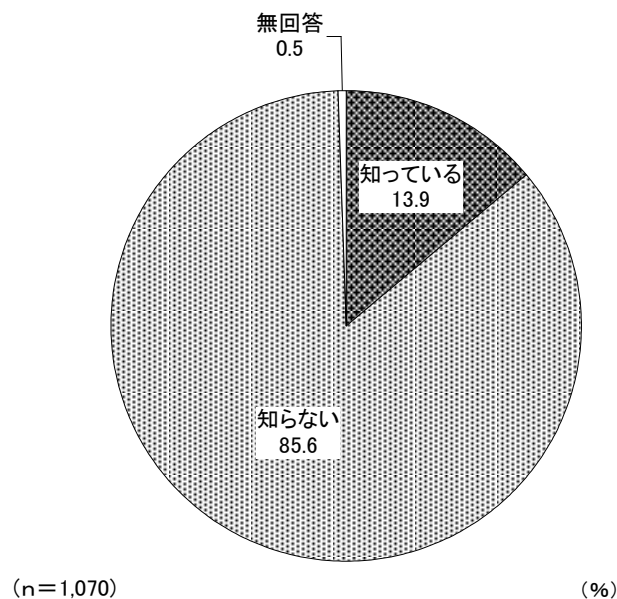
- ◆ 「狭あい道路拡幅整備事業」を知っているか聞いたところ、「知っている」(17.8%)は2割近く、「知らない」(82.1%)が8割を超えています。



狭あい道路の支障物件設置禁止規定の認知度

「知っている」人が1割を超える

- ◆ 狭あい道路の後退用地に避難上及び通行上の支障となる物件の設置を禁止する規定を設けたことを知っているか聞いたところ、「知っている」(13.9%)は1割を超え、「知らない」(85.6%)が8割半ばとなっています。

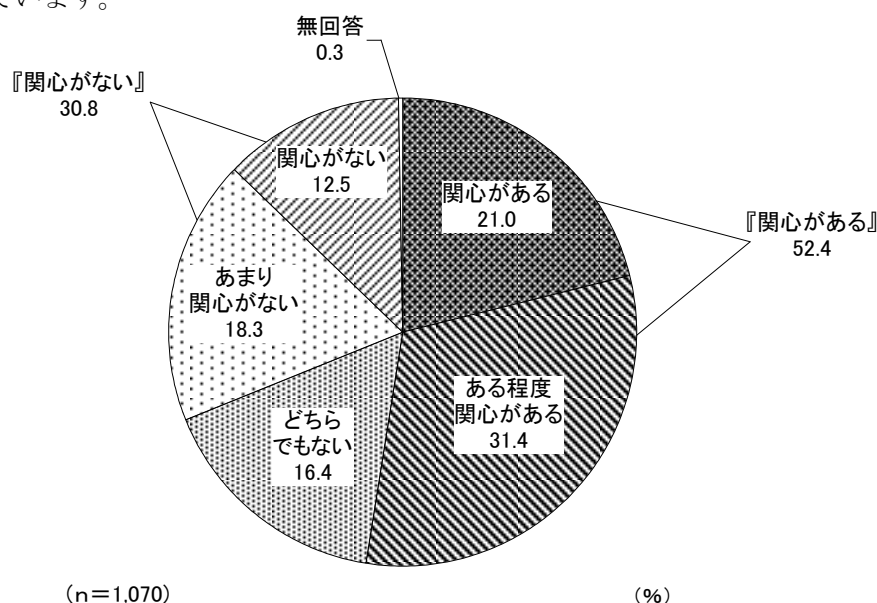


12. 科学教育の推進について

科学技術についての関心度

『関心がある』が5割を超える

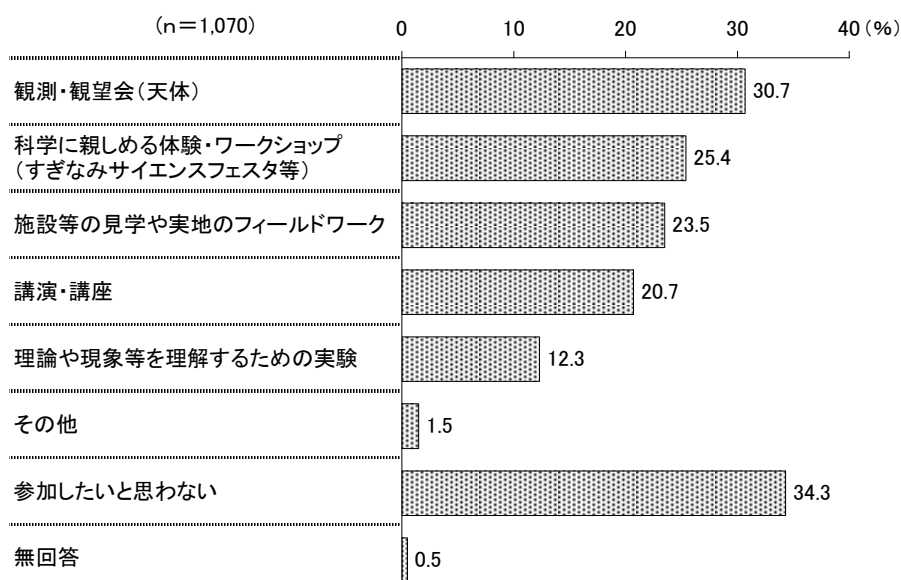
- ◆ 科学技術についてのニュースや話題に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(21.0%)と「ある程度関心がある」(31.4%)を合わせた『関心がある』(52.4%)は5割を超えています。一方、「あまり関心がない」(18.3%)と「関心がない」(12.5%)を合わせた『関心がない』(30.8%)はほぼ3割となっています。



科学技術関連事業への参加意欲

「観測・観望会(天体)」がほぼ3割

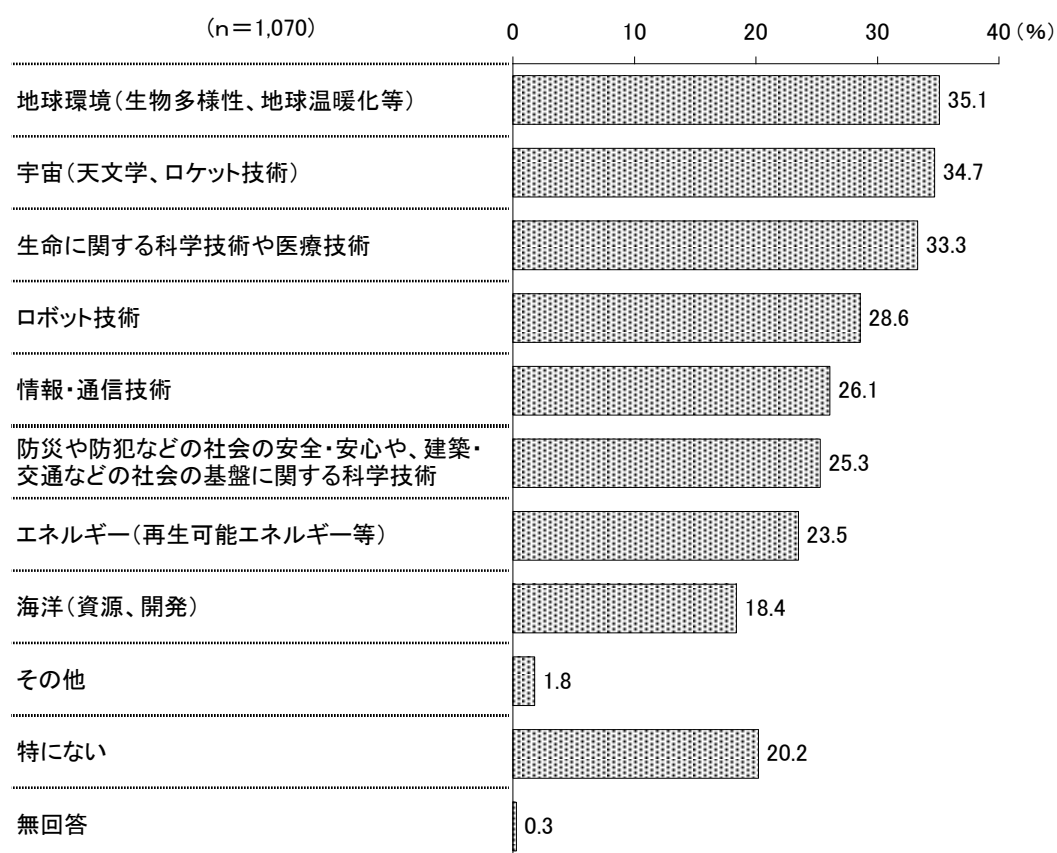
- ◆ 科学技術に関する事業に参加するとしたら、何に参加したいと思うか聞いたところ、「観測・観望会(天体)」(30.7%)がほぼ3割と最も高く、次いで「科学に親しめる体験・ワークショップ(すぎなみサイエンスフェスタ等)」(25.4%)、「施設等の見学や実地のフィールドワーク」(23.5%)、「講演・講座」(20.7%)などの順になっています。一方、「参加したいと思わない」(34.3%)は3割半ばとなっています。



科学技術に関して興味がある分野

「地球環境（生物多様性、地球温暖化等）」と「宇宙（天文学、ロケット技術）」が3割半ば

- ◆ 科学技術に関して興味を持っている分野を聞いたところ、「地球環境（生物多様性、地球温暖化等）」（35.1%）と「宇宙（天文学、ロケット技術）」（34.7%）が3割半ばと高く、次いで「生命に関する科学技術や医療技術」（33.3%）、「ロボット技術」（28.6%）、「情報・通信技術」（26.1%）、「防災や防犯などの社会の安全・安心や、建築・交通などの社会の基盤に関する科学技術」（25.3%）などの順になっています。一方、「特にない」（20.2%）は2割となっています。



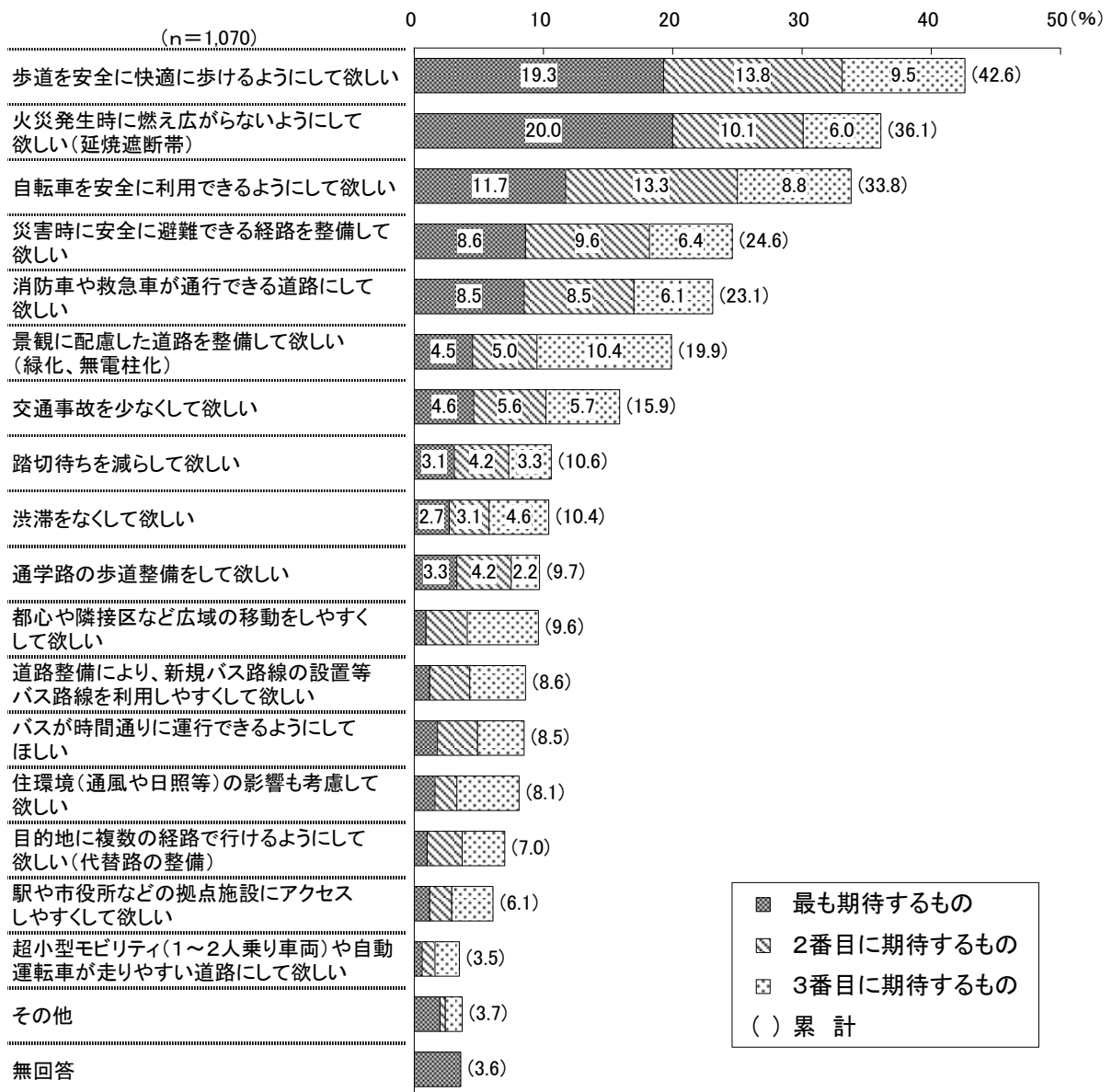
13. 道路整備と自転車の安全対策について

道路整備に期待するもの

『累計』では「歩道を安全に快適に歩けるようにして欲しい」が4割を超える

- ◆ 道路整備に期待するものを期待度が高い順に聞いたところ、【最も期待するもの】では「火災発生時に燃え広がらないようにして欲しい（延焼遮断帯）」(20.0%)が2割と最も高く、次いで「歩道を安全に快適に歩けるようにして欲しい」(19.3%)などの順になっています。

また、【最も期待するもの】、【2番目に期待するもの】、【3番目に期待するもの】を合わせた『累計』では「歩道を安全に快適に歩けるようにして欲しい」(42.6%)が4割を超えて最も高く、次いで「火災発生時に燃え広がらないようにして欲しい（延焼遮断帯）」(36.1%)、「自転車を安全に利用できるようにして欲しい」(33.8%)などの順になっています。

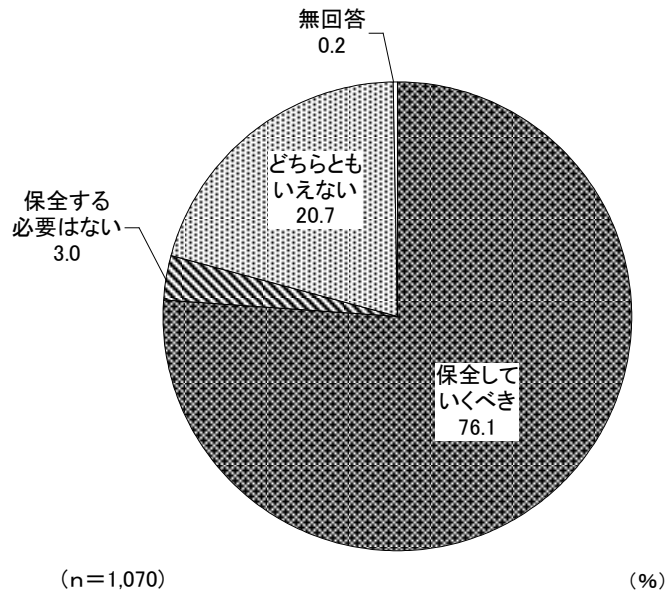


14. 緑化について

樹木や屋敷林の保全

「保全していくべき」が7割半ば

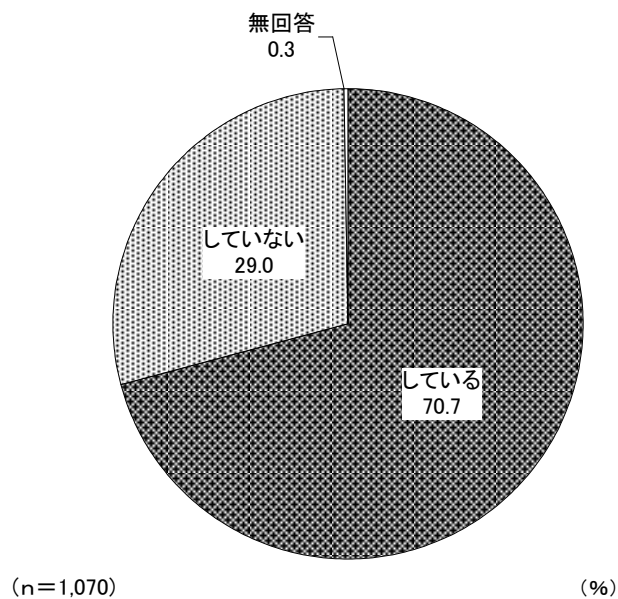
- ◆ 樹木や屋敷林の保全について聞いたところ、「保全していくべき」(76.1%)が7割半ば、「保全する必要はない」(3.0%)はわずかとなっています。また、「どちらともいえない」(20.7%)はほぼ2割となっています。



自宅での緑化の実施状況

「している」人がほぼ7割

- ◆ 自宅で緑化をしているか聞いたところ、「している」(70.7%)がほぼ7割、「していない」(29.0%)はほぼ3割となっています。

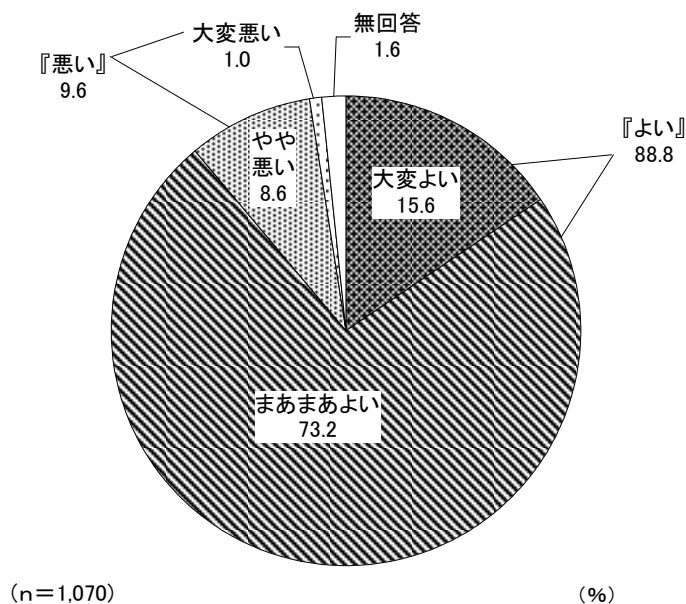


15. その他の区政について

区の職員の対応への印象

区役所の対応は『よい』が9割近く

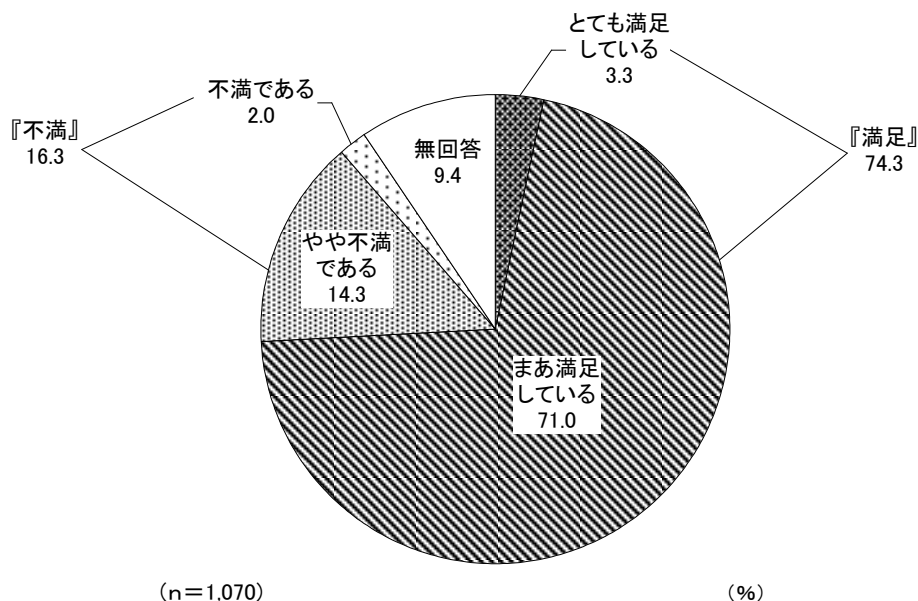
- ◆ 区の職員の対応への印象について聞いたところ、「まあまあよい」(73.2%)が7割を超え、これに「大変よい」(15.6%)を合わせた『よい』(88.8%)は9割近くとなっています。一方、「やや悪い」(8.6%)と「大変悪い」(1.0%)を合わせた『悪い』(9.6%)は1割となっています。



区の事業やサービスの満足度

『満足』が7割半ば

- ◆ 杉並区の事業やサービスの満足度を聞いたところ、「まあ満足している」(71.0%)が7割を超え、これに「とても満足している」(3.3%)を合わせた『満足』(74.3%)は7割半ばとなっています。一方、「やや不満である」(14.3%)と「不満である」(2.0%)を合わせた『不満』(16.3%)は1割半ばとなっています。

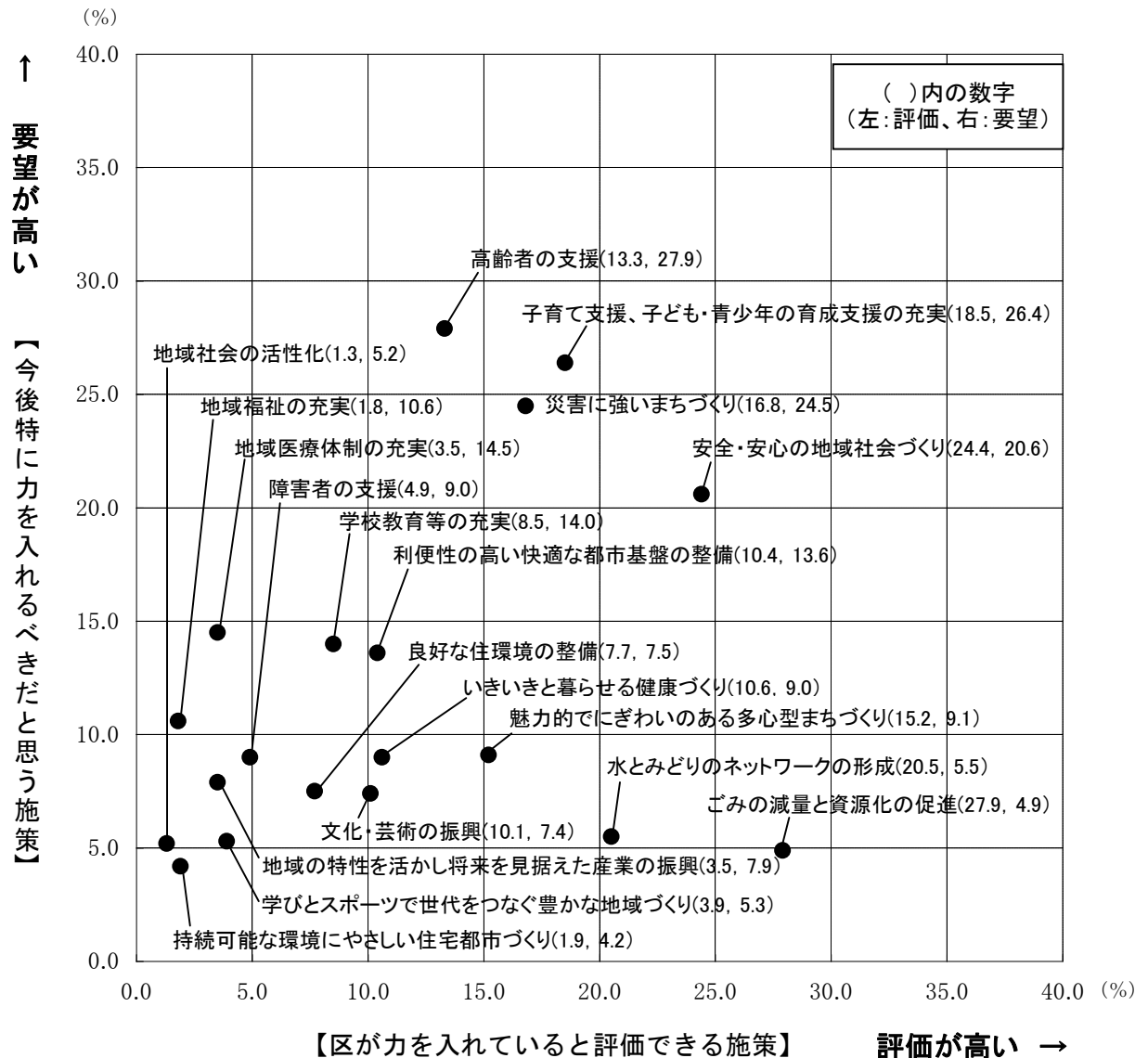


杉並区の施策の評価と要望

施策の評価では「ごみの減量と資源化の促進」が3割近く

施策の要望では「高齢者の支援」が3割近く

- ◆ 杉並区が力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、「ごみの減量と資源化の促進」(27.9%)が3割近くと最も高く、次いで「安全・安心の地域社会づくり」(24.4%)、「水とみどりのネットワークの形成」(20.5%)、「子育て支援、子ども・青少年の育成支援の充実」(18.5%)、「災害に強いまちづくり」(16.8%)などの順になっています。
- ◆ 杉並区が今後特に力を入れるべきだと思う施策を聞いたところ、「高齢者の支援」(27.9%)が3割近くと最も高く、次いで「子育て支援、子ども・青少年の育成支援の充実」(26.4%)、「災害に強いまちづくり」(24.5%)、「安全・安心の地域社会づくり」(20.6%)などの順になっています。
- ◆ 力を入れていると評価できる施策(施策の評価)と今後特に力を入れるべきだと思う施策(施策の要望)を相関させた散布図は以下のとおりです。横軸が施策の評価で、縦軸が施策の要望です。このグラフでは、**施策の評価が低く、施策の要望が高い領域(左上方)にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられます。**



第49回 杉並区区民意向調査
区政に関する意識と実態
(要約版)

登録印刷物番号

29-0062

平成29年10月発行



杉並区

発行 杉並区 総務部 区政相談課

東京都杉並区阿佐谷南1-15-1

電話：03-3312-2111 (代)

実施 株式会社エスピー研

東京都千代田区飯田橋3-11-20

電話：03-3239-0071 (代)

・本紙の本文は、再生紙を使用しています。
